

市民のくらし応援 願い実現の市政を

2017年10月 市議会
日本共産党

2016年度 一般会計決算

約5億4千6百万円の黒字

2016年度一般会計決算は、昨年に引き続き約5億4千6百万円の黒字となりました。他の特別会計も右表の通り、すべて黒字を計上しました。羽曳野市は「財政は厳しい」と言いますが、基金(貯金)は約49億円あります。財源はあるのに、くらし応援となっていない決算であると反対しました。

2016年度 各決算と党議員団の態度

- 一般会計 約5億4千6百万円 黒字 **反対**
- 国民健康保険特別会計 約2千5百万円 黒字 **反対**
- 介護保険特別会計 約3億2千2百万円 黒字 **反対**
- 水道事業特別会計 約5億2百万円 黒字 **賛成**

党市議団の一般質問より

● 国民健康保険は負担軽減を!

来年4月から、大阪府の進める統一化で大幅な保険料値上げが試算されていますが、市は府に意見を言っています。市民の負担を増やす統一化に反対し、国・府に補助金の大幅な増額を求め、市の基金積み立てや繰越金で保険料の引き下げを要望しました。

● 中学校全員給食の実現を!

市は「家庭弁当」と給食を選択できる今の学校給食が最善という考え方を変えず、パンやおにぎりのような簡易な食事で昼食をすませている生徒の実態を放置。全員給食にして給食費を就学援助の対象とするよう要望しました。

● 高齢者のお出かけ支援策を!

市は「介護予防健康施策を通じて外出支援をしているので、交通費の補助は考えていない」と答弁。バスなどの交通料金の補助とともに、デマンドタクシーなど地域に応じた新しい交通システムの構築を求めました。

● 子ども医療費助成は18歳までに!

市は「国や府の財政支援や他市の実施状況も見ながら検討」と言いますが、義務教育期間終了が望ましいとの態度は変えません。他市でも助成年齢の引き上げがされる中、子育て世代の負担軽減、定住施策として年齢引き上げを求めました。

● 西浦の市民プールは存続を!

年間3万人以上が使用する西浦の市民プールを、市は「改修に多大な予算と期間がかかる。存続・リニューアルは現在検討していない」と答弁。このままでは来年は市民プールがなくなります。富田林市では約1億5千万円かけ、市民プールがリニューアルされました。プールの存続を要望しました。

府民に負担増を押しつける

大阪府福祉医療費助成制度の見直しには反対!

今回の見直しでは、65歳以上の重度以外の障害者・難病患者を対象から外し、窓口負担増、上限の引き上げがされました。その上に、市独自で行っていた食事補助事業が縮小され、約1100人が対象から外されました。市は、障害者の暮らしを守るため、単独事業を縮小せず、大阪維新府政に対しては、財政負担を増やして医療費助成制度の拡充を要望しました。

65歳以上	身体障害者 重度者	知的障害者 重度者	重度障害者	精神 1級手帳保持者	重度 難病患者	軽度精神	軽度難病	結核	は現状維持	は拡充	は切り捨て
64歳以下											

窓口負担増に

1医療 1日 500円
(1医療 1000円まで)
↓
毎回 窓口 500円
薬局 500円

1ヶ月の上限が引き上げに

1ヶ月の上限 2500円
↓
3000円に
超えれば償還払い。しかし手続きは
重度障害の方には大きい負担

日本共産党羽曳野市会議員団

ご意見・ご要望をお気軽にお寄せ下さい



ひろせ 公代

南恵我ノ荘3-7-2
TEL 090-9997-0128

建設企業常任委員会委員
国民健康保険運営協議会委員
交通安全対策特別委員会委員長
個人情報保護審議会委員 他



ささい 喜世子

高鷲6-8-4
TEL 090-9272-7328

民生産業常任委員会委員
議会運営委員会委員長
介護保険推進協議会委員
市議会だより編集委員会委員長 他



わたなべ 真千

羽曳ヶ丘西5-2-18
TEL 090-9992-6899

建設企業常任委員会副委員長
柏羽藤環境事業組合議会議員
広域行政調査特別委員会副委員長
図書館協議会委員 他



若林 信一

西浦1-7-6
TEL 090-3034-1403

総務文教常任委員会委員
議会改革特別委員会副委員長
柏原羽曳野藤井寺消防組合議会議長
都市計画審議会委員 他

日本共産党羽曳野市会議員団ホームページ

<http://www.jcp-habikino.net>